

農学部教員個人評価方法および評価結果について

令和3年2月

宮崎大学では、教育、研究、社会貢献、管理運営および診療等業務など（以下「教育研究活動等」という。）に関する教員個人の活動状況を点検・評価し、その活動を活性化し、教育・研究等の向上を図るため、総合的な業績評価を実施しています。評価方法は学部等により異なり、農学部では、以下の方法により教員個人評価を実施しました。

対象年度：

平成29年度から令和元年度の3年間

方法：【2ページのフローチャート参照】

1. 教員は毎年、教育研究活動等の各領域における実績を数値化し、達成目標と各領域の個人ごとの重みを記載した「教員個人評価のための自己申告書」と「PDCA 自己申告書」を作成します。
2. 教員は毎年作成するそれらの申告書に基づき自己分析を行い、教育研究等の活動の改善に努めます。
3. 副学部長（評価担当）は3年ごとに、「教員個人評価のための自己申告書」のデータを用いて「農学部評価基準」に基づき総合評価を行い、「教員個人評価書」を作成し、関係書類を添えて学部長に提出します。
4. 学部長は、農学部全体の観点から、教員個々の重み付けや評価結果の調整を行い、「総合評価報告書」により教員個人に通知します。なお、評価結果について意見がある場合は再評価する場合があります。
5. 学部長は、特に高い評価を受けた教員に対しては、その活動の一層の向上を奨め、また、その活動が有意に低いと評価された教員に対しては、活動状況の改善について適切な指導及び助言を行います。
6. 今回、令和3年2月19日付けで学長に農学部教員個人評価結果を報告しました。

評価結果

3ページ以降に掲載しています。

以上

農学部教員個人評価フローチャート

毎 年

◆教員個人

1. 当該年度の「PDCA自己申告書」(様式1)に達成目標・重みを記載
2. 前年度の活動業績を大学情報DBへ入力
3. 「教員個人評価のための自己申告書」(様式2)を作成し、前年度作成した「PDCA自己申告書」(様式1)に達成状況の自己評価を記載



6月末

◆農学部教員個人評価委員会

「PDCA自己申告書」(様式1)及び「教員個人評価のための自己申告書」(様式2)の検証を実施



8月末

◆学部長

特に指導の必要がある教員には指導・助言

3年ごと

◆評価担当副学部長

「評価基準」に基づき過去3年分の総合評価を行い、「総合評価報告書」を作成し、関係書類とともに学部長へ報告



9月末

◆学部長

農学部全体の観点から、教員個々の重み付けや評価結果の調整を行い、「総合評価報告書」(様式3)により教員個人に通知

- ・特に高い評価結果の教員の活動を奨励
- ・有意に低い評価結果の教員へは、その理由を調査し、活動の改善について適切な指導・助言を行う

10月末までに通知



意見の申し出があった場合、意見を聴取、検証、再評価し、教員個人に通知



◆教員個人

総合評価結果に対する意見があれば申し出る
(通知後2週間以内)

12月末までに通知



学 長

(3月末までにHPへ公表)

宮崎大学長 殿

宮崎大学農学部長
酒 正 正 博

宮崎大学農学部教員個人評価結果（平成29～令和元年度）報告書

1. 対象年度

平成29年度から令和元年度の3年間の農学部教員の教育研究活動等について、評価いたしました。

2. 対象者

平成29年から令和元年度の3年間、農学部勤務したものを対象としました。現在の構成員のうち94人が該当しており、全員の評価を実施することができました。

3. 評価項目

「教育」、「研究」、「社会貢献」、「管理運営」および「診療等業務」について、各教員が平成29年度から令和元年度の3年間の大学情報データベースから纏めた「教員個人評価のための自己申告書」に基づき、申告したものを学部長が評価いたしました。

4. 評価結果

農学部全体では、「A:特に優れている」が17%、「B:優れている」が62%で、その合計が79%であることが分かりました。また、「C:普通の水準に達している」が21%、「D:改善の余地がある」および「E:改善を要する」の該当者はいませんでした。前回の平成26年度から28年度の3年間の評価では、農学部全体で、「A:特に優れている」が23%、「B:優れている」が63%、「C:普通の水準に達している」が14%、「D:改善の余地がある」及び「E:改善を要する」に該当する者はいなかったことから、今回の評価は前回の評価と同等の結果であるということがわかりました。

領域別においては、「教育」ではどの職階も評点5の「A:特に優れている」または評点4の「B:優れている」といった高い評価を得ているものの割合が高くなっています。「研究」では教授、准教授で高い評価を得ているものの割合が高くなっています。「社会貢献」ではどの職階も高い評価を受けている割合が高く、管理運営は、教授、助教で高い評価を受けているものの割合が高くなっています。

農学部では、前回の教員個人評価総合評価実施後に、アンケートの実施及び総合評価結果の分析を行い、適正な評価結果となるよう評価区分の見直しや参考評価項目表の項目追加などの改善を図ってきました。今回、教育で評点5の者

が教授では前回の 2 名から 17 名と大幅に増え、また助教についても前回の 0 名から 6 名となりました。

一方、准教授・講師の管理運営の評点が 5 の者が前回の 4 名から 0 名と前回と比べ減りました。また研究においては、評点 5 の者が教授・准教授・講師の職階で前回から大幅に減っておりますが、前回教授・准教授とも評点 5 の者が 7 割強となるなどしたため、評点区切りを見直した結果、適正な結果に近づいたものと思われます。

5. 今後の課題

今回の評価結果では、准教授・講師の職階においては、管理運営では評点 5 が 0%、また、同職階での社会貢献で評点 5 の者が 10%にも満たない状況のため、この原因を分析する必要があると思われます。

今後、上記のような今回の結果を基に、大学や学部の活性化により一層つながるよう個人評価の方法について改善を図っていくことが今後の課題です。

教員の個人評価結果について

部局名: 農学部

令和 2 年度において以下のとおり教員の個人評価を実施しましたので、公表いたします。

1. 実施スケジュール

- 評価対象期間 平成 29 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日
- 自己申告書の提出 毎年度終了後の 6 月末まで
- 所属長評価 令和 2 年 9 月 10 日 ~ 令和 3 年 1 月 12 日
- 評価結果の通知 令和 3 年 1 月 29 日
- 不服申立 な し
- 所属長による再評価 な し
- 評価結果の確定 令和 3 年 2 月 12 日
- 活動改善計画書の提出 な し
- 学長報告 令和 3 年 2 月 19 日

凡例

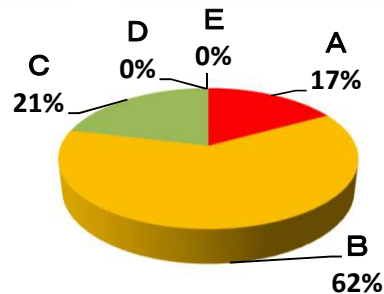
区分	評語	評点区分
A	特に優れている	90点以上100点まで
B	優れている	70点以上90点未満
C	普通の水準に達している	50点以上70点未満
D	改善の余地がある	30点以上50点未満
E	改善を要する	30点未満

2. 評価結果概要

【全体】

区分	人数
A	16 人
B	58 人
C	20 人
D	0 人
E	0 人
計	94 人

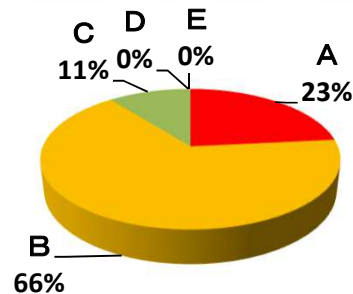
【全体】



【教授】

区分	人数
A	11 人
B	31 人
C	5 人
D	0 人
E	0 人
計	47 人

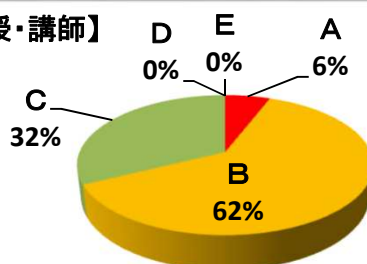
【教授】



【准教授・講師】

区分	人数
A	2 人
B	21 人
C	11 人
D	0 人
E	0 人
計	34 人

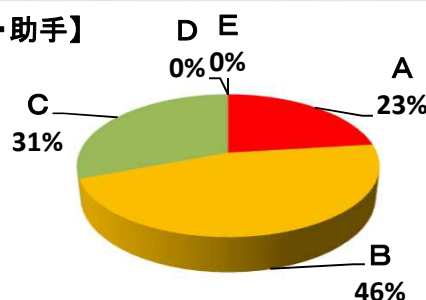
【准教授・講師】



【助教・助手】

区分	人数
A	3 人
B	6 人
C	4 人
D	0 人
E	0 人
計	13 人

【助教・助手】



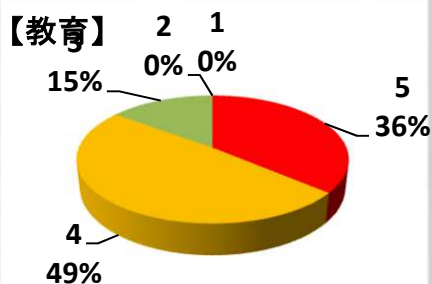
教員個人評価結果(領域別)

「評点」:各領域の総ポイントを評点指標に照らして表したもの

【教育】 教授

評点	人数
5	17人
4	23人
3	7人
2	0人
1	0人
計	47人

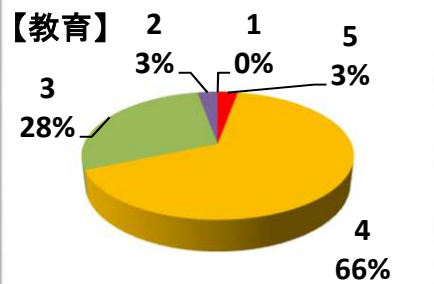
【教育】



【教育】 准教授・講師

評点	人数
5	1人
4	23人
3	10人
2	1人
1	0人
計	35人

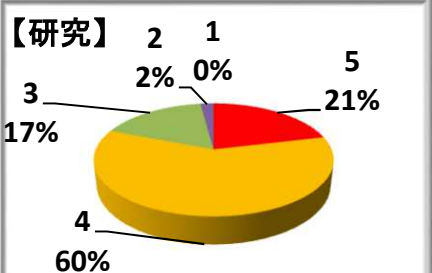
【教育】



【研究】 教授

評点	人数
5	10人
4	28人
3	8人
2	1人
1	0人
計	47人

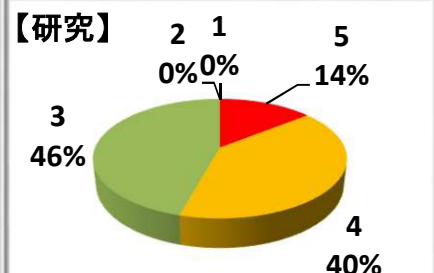
【研究】



【研究】 准教授・講師

評点	人数
5	5人
4	14人
3	16人
2	0人
1	0人
計	35人

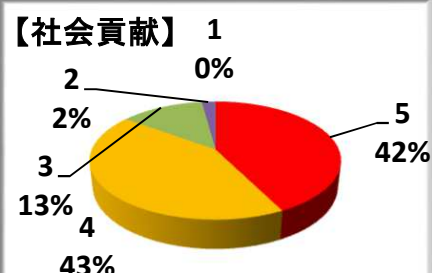
【研究】



【社会貢献】 教授

評点	人数
5	20人
4	20人
3	6人
2	1人
1	0人
計	47人

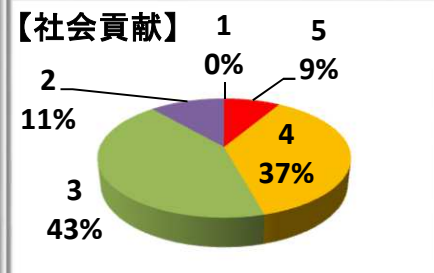
【社会貢献】



【社会貢献】 准教授・講師

評点	人数
5	3人
4	13人
3	15人
2	4人
1	0人
計	35人

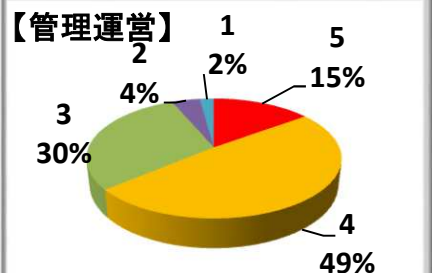
【社会貢献】



【管理運営】 教授

評点	人数
5	7人
4	23人
3	14人
2	2人
1	1人
計	47人

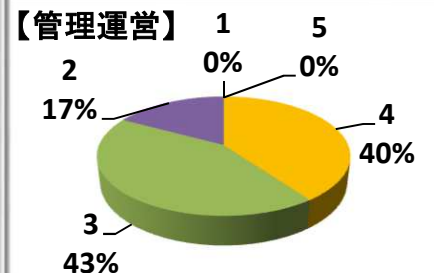
【管理運営】



【管理運営】 准教授・講師

評点	人数
5	0人
4	14人
3	15人
2	6人
1	0人
計	35人

【管理運営】



【診療等業務】 教授

評点	人数
5	4人
4	3人
3	2人
2	0人
1	0人
計	9人

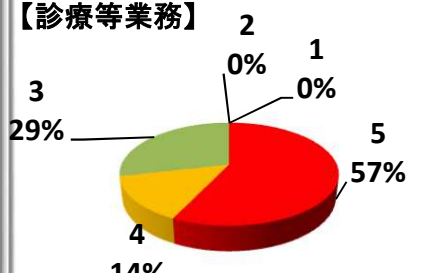
【診療等業務】



【診療業務等】 准教授・講師

評点	人数
5	4人
4	1人
3	2人
2	0人
1	0人
計	7人

【診療等業務】



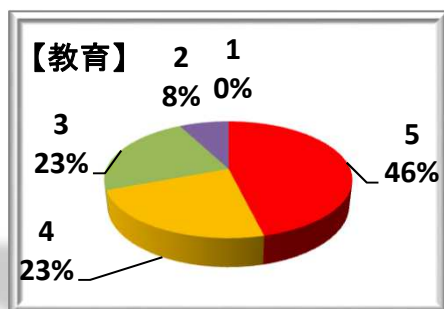
教員個人評価結果(領域別)

「評点」: 各領域の総ポイントを評点指標に照らして表したもの

【教育】

助教・助手

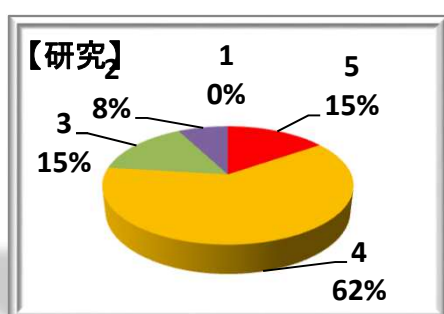
評点	人数
5	6人
4	3人
3	3人
2	1人
1	0人
計	13人



【研究】

助教・助手

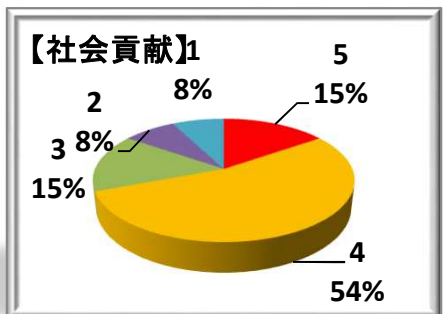
評点	人数
5	2人
4	8人
3	2人
2	1人
1	0人
計	13人



【社会貢献】

助教・助手

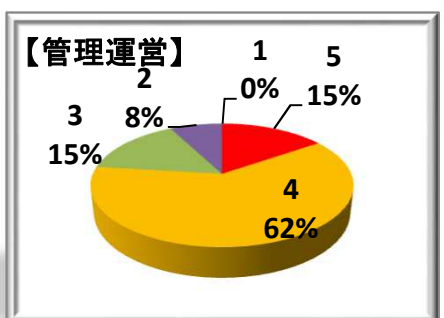
評点	人数
5	2人
4	7人
3	2人
2	1人
1	1人
計	13人



【管理運営】

助教・助手

評点	人数
5	2人
4	8人
3	2人
2	1人
1	0人
計	13人



【診療業務等】

助教・助手

評点	人数
5	-人
4	-人
3	-人
2	-人
1	-人
計	-人

※ 評価対象者が少なく、個人が特定されるため、公表しない。